

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	都市緑地論					授業形態	講義		
科目コード	710086	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	関西 剛康								
授業概要	<p>緑豊かな潤いのある人類の生息地である“まち（都市）”を築いていくためには、世界的に緑地空間は重要な役割を担っている。授業では、主に世界における近代公園の形成から、日本における導入、そして現代における成熟期までの変遷と今後の動向について概説する。そして、都市緑地の形成と今後に関する基礎的知識とその技術、理解能力を身につけることを目指す。</p> <p>また、教員は技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、造園設計事務所において国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画した20年間の経験がある。それらのキャリアを含めて、教員が実際に計画設計した造園作品の具体的な事例を解説しながらも授業を進める（現在は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会会長ほか多数を歴任）。</p>								
関連する科目	本授業の履修より前には「環境園芸概論」「環境園芸実験実習Ⅰ」「環境園芸実験実習Ⅱ」「造園学概論」「造園植栽論」「敷地計画論」を受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>①授業は、テキスト代わりに配布するプリント資料（第1～4章で構成、約80頁）と、パワーポイントによるスライドをもとに行う。</p> <p>②順番に受講生にテキストを音読してもらい、教員が解説を行う方式で授業する。</p> <p>③テキスト内の重要なキーワードは穴埋め式となっており、授業進捗に伴いスライド上で示して伝えるので書き写すこと。</p>								
授業計画 【第1回】	ガイダンス（近代国家における都市緑地形成とは何か） （講義全体の概要、評価方法について説明する）								
授業計画 【第2回】	第1章 世界における近代公園の誕生 1.1 英国ロンドンにおける近代公園の成立 （先進諸国における近代公園の誕生について学ぶ）								
授業計画 【第3回】	第1章 世界における近代公園の誕生 1.2 仏国パリの都市大改造による近代公園の整備 （先進諸国における近代公園の誕生について学ぶ）								
授業計画 【第4回】	第1章 世界における近代公園の誕生 1.3 米国ニューヨークでの都市構造にみるセントラル・パークの誕生 （先進諸国における近代公園の誕生について学ぶ）								
授業計画 【第5回】	第2章 日本での都市緑地の誕生 2.1 江戸時代までの行楽地 2.2 明治期における近代公園の黎明 （日本の明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ）								
授業計画 【第6回】	第2章 日本での都市緑地の誕生 2.3 東京の都市改造にみる公園整備計画 2.4 パブリック・ガーデンとパークの整備とその相違 （日本の明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ）								
授業計画 【第7回】	第2章 日本での都市緑地の誕生 2.5 公園整備運動の拡大化 2.6 パークシステム理論の流入 （日本の明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ）								
授業計画 【第8回】	第2章 日本での都市緑地の誕生 2.7 国家プロジェクトとしての明治神宮の整備 （日本の明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ）								
授業計画 【第9回】	第2章 日本での都市緑地の誕生 2.8 関東大震災からの帝都復興にみるパークシステム （日本の明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ）								
授業計画 【第10回】	第3章 日本における都市緑地の展開と現在 3.1 昭和初期における緑地整備計画 （日本の昭和期から現在までに発展した公園制度や緑地形成について学ぶ）								
授業計画 【第11回】	第3章 日本における都市緑地の展開と現在 3.2 戦災復興における緑地整備計画 （日本の昭和期から現在までに発展した公園制度や緑地形成について学ぶ）								

授業計画 【第12回】	第3章 日本における都市緑地の展開と現在 3.3 現在の都市緑地における方針 3.4 現在の緑のオープンスペースのあり方 (日本の昭和期から現在までに発展した公園制度や緑地形成について学ぶ)
授業計画 【第13回】	第4章 都市緑地におけるパークマネジメントについて 4.1 パークマネジメントの概要 4.2 海外で注目のパークマネジメントの事例について (先進的で持続可能な公園の運営について学ぶ)
授業計画 【第14回】	第4章 都市緑地におけるパークマネジメントについて 4.3 日本で注目のパークマネジメントの事例について (先進的で持続可能な公園の運営について学ぶ)
授業計画 【第15回】	第4章 都市緑地におけるパークマネジメントについて 4.4 パークマネジメントにおける収益モデルの事例について 4.5 まとめ (先進的で持続可能な公園の運営について学ぶ)
授業の到達目標	①都市緑地についての理解や計画ができる専門職業人としての自覚・意欲を身につける【態度・志向性の育成】 ②都市緑地についての手法や理念が構築できる資質・能力を学び、その実践に向けた自己の課題を把握する【自己管理能力・生涯学習力】 ③造園の専門職業人として、都市緑地についての手法や理念を理解し、その内容を学ぶ【職業知識・技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学修 【予習】	①授業内で配布するテキスト資料や参考書等を授業前に読んでおくこと。 ②予習1時間程度。
授業時間外の学修 【復習】	①授業後に理解を深めるために、授業内で配布するテキスト資料や参考書等、再度精読すること。 ②造園学の分野がどのようなものであるかを理解するため、授業中に紹介する身近な造園空間を訪問したり、全国的著名な庭園や公園緑地に関わる資料や図版等を見ておくこと。 ③復習1時間程度。
課題に対する フィードバック	①学期末定期試験の終了後、解説する。 ②評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説する。
評価方法・基準	①学期末定期試験による評価(100点) ②授業への取り組みも評価(授業態度によってはマイナス評価も行う)
テキスト	テキストは、授業の進捗にあわせてプリント(A4コピー資料:約80頁)を配布する。 (各自で紙ファイルやクリアファイルに綴じ込むことが望ましい)
参考書	①石川幹子(2001):都市と緑地-新しい都市環境の創造に向けて:岩波書店, pp400
備考	